

# おぢや



# 市議会だより

OJIYA CITY ASSEMBLY

NO. 58

22.10.25

編集発行  
小千谷市議会  
☎83-3505



## おぢやクラインガルテンふれあいの里

滞在型農園 & 日帰り型農園

クラインガルテン（独 Kleingarten）とは、ドイツで盛んな200年の歴史をもつ農地の賃借制度のことで、「市民農園」などと訳されています。

ふれあいの里の全体の面積は12畝で、主な施設は、滞在型農園（宿泊施設付）30区画、日帰り型農園84区画、管理棟、駐車場、多目的広場などです。現在、東京などから30組が滞在しています。

所在：小千谷市大字塩殿1814-2

Tel/Fax 0258 (83) 1722（管理棟）

- 第3回定例会議決結果 …… P2
- 常任委員会報告 …… P2
- 一般質問 …… P4
- 議会日誌 …… P8
- 雪あかり、編集後記 …… P8

—主な掲載内容—

# 平成二十二年小千谷市議会 第三回定例会 議決結果

## 条例の制定・改正

- 小千谷市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第十条第一項の規定に基づく準則を定める条例の制定 (全会一致)
- 小千谷市手数料条例の一部を改正する条例の制定(全会一致)
- 小千谷市火災予防条例の一部を改正する条例の制定 (全会一致)
- 小千谷市消防団の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定 (全会一致)

## 平成二十一年度予算の補正

- 小千谷市一般会計補正予算(第二号) (全会一致)
- 小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第一号)(起立多数)
- 小千谷老人保健特別会計補正予算(第一号) (全会一致)
- 小千谷市介護保険特別会計補正予算(第一号) (全会一致)

## 平成二十一年度決算の認定

- 小千谷市一般会計歳入歳出決算認定 (起立多数)
- 小千谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定(起立多数)
- 小千谷市老人保健特別会計歳入歳出決算認定 (起立多数)
- 小千谷市下水道特別会計歳入歳出決算認定 (全会一致)
- 小千谷市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定 (全会一致)
- 小千谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定 (起立多数)
- 小千谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定 (起立多数)
- 小千谷市工業団地事業特別会計歳入歳出決算認定(全会一致)
- 小千谷市ガス事業会計決算認定 (全会一致)
- 小千谷市水道事業会計決算認定 (全会一致)
- 小千谷市工業用水道事業会計決算認定 (全会一致)
- 小千谷地域広域事務組合一般会計歳入歳出決算認定 (全会一致)



## その他

- 専決処分(平成二十二年小千谷市ガス事業会計補正予算(第一号)) (全会一致)
- 財産の取得 (全会一致)
- 財産の処分 (全会一致)
- 小千谷市道路線の認定 (全会一致)
- 小千谷市道路線の廃止 (全会一致)
- 小千谷市固定資産評価審査委員会委員の選任 (起立全員)

- 人権擁護委員候補者の推薦 (起立全員)
- 小千谷市公平委員会委員の選任 (起立全員)

## 発議

- 私立高校生が学費を心配せず学べるように、学費軽減制度の抜本的拡充など私学助成の増額・拡充を求める意見書 (全会一致)

## 市議会を 傍聴して みませんか



### 第4回定例会開催予定

- 12月8日(水) 第1日 議案上程説明
- 12月21日(火) 第2日 一般質問
- 12月22日(水) 第3日 一般質問 (質問者が多い場合に開催)
- 12月24日(金) 最終日 委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、議会傍聴については議会事務局 (TEL 83-3505) へお問い合わせください。

## 三常任委員会報告

### 総務文教委員会

本委員会に付託されました案件は、議案六件及び請願一件でありました。審査は、八月三十一日、九月一日、二日の三日間にわたり開催し、平成二十二年一般会計補正予算(第二号)、平成二十一年度一般会計歳入歳出決算認定及び平成二十一年度小千谷地域広域事務組合一般会計歳入歳出決算認定については、社会土木委員会、産業経済委員会との三常任委員会の連合審査会といたしました。委員会では各議案とも慎重に審査し、六件とも原案のとおり可決及び認定すべきものと決し、請願一件については全員異議なく採択するものと決しました。

○議案第七十九号 小千谷市手数料条例の一部を改正する条例の制定について  
許可にかかる審査業務の効率化が図られたことにより、手数料の引き上げをしたいとするものです。

○議案第八十号 小千谷市火災

予防条例の一部を改正する条例の制定について

基準を定める国の省令が改正されたことにより、関連条文を改正したいとするものです。

○議案第八十一号 小千谷市消防団の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

消防組織法の改正に伴う改正を行いたいとするものです。

○議案第八十二号 平成二十二年小千谷市一般会計補正予算(第二号)について

個人住民税、地方交付税確定の増額、中越地震復興基金事業、リバービュー21の建物解体経費等の増額で、歳入歳出それぞれ一億四千九百三十八千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ百八十億六千七百九十一万二千円としたいとするものです。

○議案第八十六号 平成二十一年度小千谷市一般会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は、二百二十三億三千三百六十六万七千円、歳出決算額は二百十八億四百六十一万九千円、差し引き五億二千九百四十八千円となっておりますが、翌年度へ繰り越すべき財

源を差し引いた実質収支額は、三億六千八百四十三万五千円の黒字となっております。なお、經常収支比率は、九十二・五％に、起債制限比率は、十一・二％となっております。

○議案第九十七号 平成二十一年度小千谷地域広域事務組合一般会計歳入歳出決算認定について

本年三月三十日の組合解散による打ち切り決算であります。○請願第五号 私立高校生が学費を心配せず学べるように、学費軽減制度の抜本的拡充など私学助成の増額・拡充を求める意見書の提出に関する請願について

表題の意見書を関係行政機関に提出していただきたいとするものです。

### 社会土木委員会

本委員会に付託されました案件は、議案九件でありました。

各議案とも慎重に審査し、九件とも可決及び認定すべきものと決しました。

○議案第八十三号 平成二十二年小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第一号)について

本案は二十一年度の保険給付費等の確定に伴う精算により既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ一億五千五百五十五万九千円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ三十七億六千八百七十六万三千円とするというものです。

○議案第八十四号 平成二十二年小千谷市老人保健特別会計補正予算(第一号)について

本案は二十一年度の老人医療費負担金等の確定に伴う精算によるもので既定の予算総額に歳入歳出それぞれ百八万一千円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ百五十三万七千円とするというものです。

○議案第八十五号 平成二十二年小千谷市介護保険特別会計補正予算(第一号)について

本案は介護サービス利用実態調査経費の計上と二十一年度介護給付費等の確定に伴う精算によるもので、既定の予算総額に歳入歳出それぞれ四千四十一万四千円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ三十五億五百七十一万三千円とするものです。

○議案第八十七号 平成二十一年度小千谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は三十六億八千二百八十七万九千円、歳出決算額は三十五億二千七百三十一万八千円で、歳入歳出差引残額一億五千五百五十六万円を翌年度へ繰越すというものです。

○議案第八十八号 平成二十一年度小千谷市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は一億三千四百七十四万円、歳出決算額は一億三千三百六十六万円、歳入歳出差引残額百七十九万円を翌年度に繰越すというものです。

○議案第九十一号 平成二十一年度小千谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は三十二億八千四百九十三万八千円、歳出決算額は三十二億四千六百五十四万五千円、歳入歳出差引残額三千八百三十九万三千円を翌年度に繰越すというものです。

○議案第九十二号 平成二十一年度小千谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は六億八千三百九十九万七千円、歳出決算額は六億七千六百九十万三千円、歳入歳出差引残額七百九十四千円を翌年度に繰越すというものです。

○議案第九十号 小千谷市道路線の認定について

本案は、民間の宅地開発に伴う団地内道路二路線ほか一路線が市道認定基準に合致したことから市道に認定したいとするものです。

○議案第一百号 小千谷市道路線の廃止について

本案は、震災により荒廃がひどく、道路としての利用がなくなった市道一路線を廃止したいとするものです。

### 産業経済委員会

本委員会に付託されました議案七件を慎重に審査し、原案のとおり可決及び認定すべきものと決しました。

○議案第七十八号 小千谷市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第十条第一項の規定に基づく準則を定める条例の制定について

企業の立地を促進するため、重点促進区域について緑地面積率等を緩和する条例を制定するものです。

○議案第八十九号 平成二十一年度小千谷市下水道特別会計歳

### 入歳出決算認定について

歳入決算額は二十八億二千六百八十三万七千円、歳入決算額は二十七億五千八百七十一万三千円、歳入歳出差引残額六千八百二十四千円を翌年度に繰越すというものです。

○議案第九十号 平成二十一年度小千谷市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は三億一千二百五十万一千円、歳出決算額は二億九千九十九万五千円で、歳入歳出差引残額二千五百五十万六千円を翌年度に繰越すというものです。

○議案第九十三号 平成二十一年度小千谷市工業団地事業特別会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は一億七千六十万円、歳出決算額は一億七千二百二十九万五千円で、歳入歳出差引残額三十四万四千円を翌年度に繰越すというものです。

○議案第九十四号 平成二十一年度小千谷市ガス事業会計決算認定について

業務実績は、供給戸数一万五百七十一件、供給量一千四百九十七万六千五百七十七立方メートルとなり、経営成績では、一億五

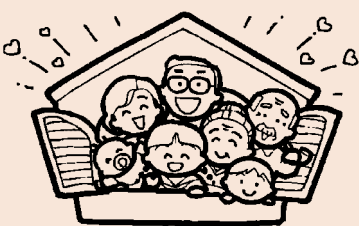
千七百八十二万八千円の当年度純利益となりました。

○議案第九十五号 平成二十一年度小千谷市水道事業会計決算認定について

業務実績は、給水戸数一万三千六百二十六件、有収水量四百三十九万二千二百五十五立方メートルとなり、給水収益は六億八千六百四十七千円となりました。経営成績では、九千百三十三万六千円の当年度純利益となりました。

○議案第九十六号 平成二十一年度小千谷市工業用水道事業会計決算認定について

業務実績は、給水量二百五十五万七千五百二十三立方メートルとなり、経営成績では、六千四百五十九千円の当年度純利益となりました。



## 市政の内容を聞く

# 一般質問

### 行政運営とその成果について

山賀 一雄 議員

**質問** 市長任期もわずかになつたので、四年間を振り返り谷井市政の行政運営とその成果を伺う。

①平成十八年市長選挙に立候補する際、「やっつい靖夫が思っていること」と掲げた四つの事柄、いわゆる公約の実行状況とその成果は。

②行政運営の根幹をなし、まちづくりの基本的方向及び将来像を示すものが総合計画である。

第四次総合計画において都市像を実現するために掲げた六つの基本目標と前期基本計画での分野別施策の実行状況とその成果は。

③行政改革を「不断の課題」であると位置づけ、三つの重点事項を掲げた行政改革大綱を定めているが、その実行状況と成果はどうか。

**答弁** ①中越大震災の復興計画は、短期・中期目標ともほぼ達成出来た。子育てでは、ベビー・ファースト運動の創設、認定子ども園設置への支援、放課後児童クラブ運営の一元化など安心して子育てできる環境づくりを推進してきた。高齢者対策では、就労者拠点施設ワークプラザの開設などシルバー人材センターと連携して、高齢者が社会で活躍出来る環境づくりに努めた。

に努めた。

②教育・文化関係では、小千谷小学校の改築、市民学習センター「楽集館」の開設など人材育成に資するよう努めた。環境・防災関係では、小中学校の耐震化事業、ごみの減量化・再資源化などに取り組み、循環型社会の構築に努めた。福祉・健康・医療関係では、子育て支援策の充実、介護保険施設整備への支援に努めた。現在、病院統合の協議を進めており、早期開業に向けて取り組んでいる。産業・経済関係では、企業立地支援の



ほか「おぢやファンクラブ」の設立や家賃補助制度を創設し、若年層を中心に定住促進を図った。

③職員の定数管理や財政指標の面において目標に達しており、経費削減等による財政効果は表れている。今後とも改革項目の着実な実行を進め、健全な財政運営を堅持して住みよい小千谷を目指す。

## 保育料の軽減と就学援助制度の拡充を

風間 健一 議員

**質問** 「保育料は二人目は半額ですが、もう少し引き下げて頂けると助かります。保育料が家計の中で一番負担が大きい」というお母さんの声をよく聞きま

**市長答弁** 保育料の大幅な軽減

によって他の保育サービスが低下してはならず、三歳未満児の受け入れ態勢を優先し、第二子の軽減は現状どおりとしたい。

**質問** 今年度から要保護・要保護児童の就学援助支給内容に、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費が新規に加えられました。これらは支給されていますか。もし支給されていなければ、四月に遡って支給していただきたい。また要保護・要保護児童とも、これまでの支給水準を引き下げないで頂きたいが、教育長の考えを伺いたい。

**教育長答弁** 平成十七年に要保護に対する国の補助金が廃止され、他市でも支給基準の見直しの動きが広がっている。当市も、対象者や金額などの実態を調査し、就学援助制度全般の見直しの中で総合的に判断したい。

## 子宮頸がん予防ワクチンなど三項目

安達 稔 議員

**質問一** 「社会基盤の老朽化への備え」社会資本は高度成長期に集中して整備されたものが、一気に更新時期を迎えている。急増する維持管理費をまかなうには、効率的な管理手法が必要。財源を補う工夫として小規模な補修を繰り返す「予防保全」という考えがある。そのことから以下四点を伺う。①当市で五十年以上経過した施設は。②維持更新にかかる費用の確保は。③アセットマネジメントの考えは。④「公共施設白書」を作成し対応策を取るべきと考えるが。

**答弁一** ①把握しているもので橋梁三橋、市営住宅四十二戸、小学校の給食棟一棟、ガス・水道に一部など。②基金を一定程度確保し、更新費用に充てる必要がある。③有益なものと考えられる。④検討してまいりたい。

**質問二** 「高齢者不明問題」今年の夏は猛暑と高齢者不明問題が連日の話題。当市の状況について以下三点伺う。①住民基本

台帳上、戸籍上において当市の実態は。②百歳以上は国からの指示、百歳以下の掌握はどのようにするのか。③今後このようなことのないようにするにはどのように。

**答弁二** ①百歳以上は住民基本台帳上二十二名。所在不明はありません。戸籍上は百九名おり、所在不明者は七十五名。②今回の問題を踏まえ実態調査に努める。③関係課との連携を密にし、体制づくりに努める。

**質問三** 「子宮頸がん予防ワクチン」このことは昨年も質問した。市民からの陳情もありました。①当市ではこの十年間の発病者数と死亡者数は。②来年度予算において助成すべき。③検診での発見者は七人、三人が死亡。④来年度予算で接種助成する。

## ファミリー・サポート・センター事業等について

佐藤 隆一 議員

**質問一** 働く両親の支援事業として、ファミリー・サポート・センターはなくてはならない存在です。しかし、子どもを預かる会員が頭うちのため、依頼に答えられないケースが生じています。そこで、質問します。①会員数の推移と会員の確保にどのような対策を講じますか。②病後児保育の利用低迷の背景と今後の対策について伺います。

**答弁一** ①平成十六年比で、依頼会員、提供会員、活動件数とも増加し、今後もこの傾向が続くと考えるが、依頼に答えられないケースは生じていない。②病後児保育は医師の連絡票が必要であり、煩わしいと考えることもあるのではないかと。平成二十一年から利用料金を三百円（時間）に引下げ、利用しやすくするための対策を講じています。

**質問二** 社会の変化に伴う男女共同参画社会基本法の制定から



十一年、実現には、意識変革や保育サービスの充実、育児休業取得のための条件整備など、課題は山積みです。以下、質問します。

①市の施策について、どのように検証していますか。

②市の男女別育児休業取得人数や女性の管理職登用状況、また、市の各種審議会委員に占める女性の割合について。

③市の男女共同参画プランで示した数値目標は、男女の地位の平等感など、主観的な感想を求めるものばかり。女性管理職登用など具体的な数値目標を示すべきではないか。

**答弁** ①放課後子ども教室は高い評価を得ている。

②育児休業（女性百十四名、男性〇）、女性課長職は過去に一名、審議会委員（女性二十三％）。

③次期プランの見直しに併せ、検討したい。



### 東小千谷地域整備と少人数化学級の事

西沢 代三 議員

#### 質問

東小千谷地域の整備について。①国道三五一号旭町バイパスは隣接地に食品スーパー・マルイの開店もあって交通がふくそうし、新たな交通安全対策が課題である。②表沢川のショートカットは、改修計画が発表されたが、その後の取り組みが消極的である。③都市計



画道路、東栄―元中子線の未整備区間の用地買収の進行状況及びルートの変更はどうか。④旧桑樹試験跡地の高度利用であるが、統合病院用地としては。

#### 答弁

①区間中に歩行者用の信号機を二ヶ所に設置するなど努力しています。地元の要望を県公安委員会に説明、解消に努力したいと思います。②用地買収の未同意者は、二十四人中で三人に減少しました。早期実現に努力します。③東小千谷まちづくりを検討中であり、その主体事業に位置付けて、早期整備を推進します。④旧北陸農業試験場跡地は、病院経営主体が希望した場合

#### 質問

少人数化学級について。①小中学校の少人数化学級の実施が進展の方向にある。その影響はどうか。②少人数化の実施は市内全体の学校再編成にも影響があると思

#### 答弁

①学級人数の減少化を進めることばかりでなく教育環境の充実や教職員のさらなる資質の向上も大切であります。②少人数化学級実施による影響は低いと思います。③地域の相互の信頼関係が基盤です。

### 小千谷市の教育問題について

田中 淳 議員

#### 質問

特別支援学級と高等部を含む養護学校についての小千谷市としての考え方と今後の方向性について。

①統合による廃校後の教育施設といった面からの利用の考え方。②市内の特別支援学級の状況や養護教員の配置についての現況と当市としての特別支援学級への受け入れと、今後の取り組みについて問う。

#### 市長答弁

文部科学省では、学校廃校後の施設利用の優先順位で、学校施設への転用から、

取り壊しといった措置まで五段階の活用方法があり、健全な施設であれば、市で積極的に活用する事は考えなければならぬ。また、南部地区小学校の統合問題が決定したときには、特別支援学校への転用を含め教育施設としての有効利用を検討したい。

#### 教育長答弁

現在小千谷市内の小中学校七学級に三十八人が、二中学校三学級に十四人が在籍している。特別支援学級の担当教員の現状は、市内小・中学校全体で十学級が開設されている中で、特別支援学校教諭免許を



小出養護学校ふれあいの丘分校（十日町市）

有している担任は二名です。他にも資格者は七名おり、その内一人は発達障害の通級指導教室を担当している。

県は特別支援教育に対する考え方として「地域の子どもは地域で学び、育てる」ことを推進している。小千谷市としても各方面の要望もあることから、地域に根ざしたより良い教育環境を備えた特別支援学校の設置が望ましいと考えております。

## 市長の政治姿勢等について

岩 淵 清 議員

**質問一** 谷井市長は、就任以来豊かな企業感覚と優れた想像力のもとに幾多の実績を上げてこられた。今後ともどのような政治信条・姿勢をもって市政の運営に当たられるか。

**答弁一** 常に心がけてきたことは、「この考え方、この施策が本当に市民のために一番良いことがどうか」であります。このためには、常に物事の本質を見失うことなく、偏らない判断が出来なければならぬと考えてい

ます。また、市民、議会、行政が一体となって力を合わせることで不可欠であると思っております。今後とも、市民の目線に立つて公正・公平・無私を基本としてまいります。

**質問二** 市政運営の基本方針・課題・重点施策は。

**答弁二** 基本方針は「合併しながら小千谷として、基礎体力のあるまちづくり」を念頭に政策を推進してまいります。課題は、経済不況による厳しい財政運営、地域主権改革という大きな流れのなかで、自治体はより一層の自立と自己責任が求められています。少子高齢化・人口・地域医療体制・低炭素社会・循環型社会への移行・自然環境との共生等山積しています。



重点施策は、課題を踏まえ、四つの重点項目を掲げ各種施策を推進します。一点目は、医療・都市基盤を含め「安心安全のまちづくり」。二点目は、「子育て支援・教育の充実」。三点目は、「高齢者の生きがいづくり応援」。四点目は、「農・商・工業の振興」であります。合併しなかった小千谷市が、さらに活力があり豊かな市になるよう、尽くします。

## 市民と市長の懇談会 運転免許証の返納について

川 上 直 栄 議員

**質問一** 市民と市長の懇談会実施の目的は。

**答弁一** 市政の運営にあたっては、市民の意見、要望を十分に政策に反映することが基本であり、そのために、当市の状況や抱える問題とその解決策を説明し、解決を得ることが必要である。そのための場の一つとして、私自身が現状を直接説明し理解を得ると同時に、直接対話することでの生の声を聞き、可能なこ

とから速やかに市政に反映させて行くことを目的としている。**質問二** これまでの懇談会の実績と評価は。

**答弁二** 平成二十年度、二十一年度は九ヶ所で開催、二十年度は一会場当り平均で約三十五人、二十一年度は二十五人の参加者、二十二年度は八ヶ所で一会場当り平均で約二十五人の参加だった。参加者からは各会場でたくさんの質問や意見をいただき、有意義な意見交換をすることができた。対応可能な提案については、速やかに実施した。参加者から感想を聞くことがあるが、市民の評価は総じて高いと感じている。

**質問三** 今後も継続するのか。

**答弁三** 説明責任を果たし、直接対話で意見や提案を聞く機会として大変有意義と考えており、より多くの参加者となるよう工夫しながら継続したい。

**質問四** 交通事故の確率を少しでも下げ、安心、安全な街づくりにもつながる制度として運転免許証の返納について検討してどうか。

**答弁四** 当市のような中山間地の公共交通の不便なところにとって、自家用車の運転は生活

## 会議録の閲覧

市議会本会議の会議録（平成15年第1回定例会以降）は市ホームページからご覧いただけます。ただし、平成22年第3回定例会の会議録掲載は、11月末頃となります。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp>



する上で必要不可欠なものとなっている。高齢者でも個々の運転能力は異なり、更新時には講習や予備検査が実施されていることから動機付けの効果が期待される。当面支援制度は考えず、個人の意志を尊重したい。

# 議会日誌

7月～9月

## 〈7月〉

- 7日 議会報編集委員会
- 12日 議会報編集委員会
- 13日 社会土木委員会行政視察  
に出発（北海道留萌市、  
稚内市）
- 21日 議会先例検討委員会  
会派代表者会議
- 22日 産業経済委員会ほか市内  
企業見学会
- 29日 水明会行政視察に出発  
（滋賀県米原市）

## 〈8月〉

- 5日 新潟県特別豪雪地帯市町  
村議会協議会理事会及び  
県要望（新潟市）
- 6日 社会土木委員協議会
- 9日 政友・新風クラブ行政視  
察に出発（東京都葛飾区）
- 12日 議会先例検討委員会
- 18日 埼玉県白岡町議会行政視  
察に来市
- 20日 中越地区市議会合同議員  
研修会（魚沼市）
- 23日 議会運営委員会  
議会先例検討委員会
- 24日 県市議会議長会秋季定期  
総会（糸魚川市）
- 30日 第三回定例会（本会議）  
議会報編集委員会

## 〈9月〉

- 31日 三常任委員会連合審査会
- 1日 三常任委員会連合審査会
- 2日 総務文教委員会
- 3日 総務文教委員協議会
- 3日 社会土木委員会
- 6日 産業経済委員会
- 6日 新潟県議会特別委員会視  
察に来市
- 16日 議会運営委員会  
本会議（第二日）
- 17日 本会議（第三日）
- 22日 議会先例検討委員会  
議会運営委員会  
本会議（第四日）
- 22日 議員協議会
- 22日 総務文教委員協議会
- 29日 議会先例検討委員会

### 議会中継

市議会本会議は市ホームページからインターネット生中継でご覧いただけます。



URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp>



40



藤田 フサ（東栄二）

四十年余の勤務生活が終り、

第二の人生をどのように過したら良いか色々考えました。今までに三十年間やって来ました書道を生かし、ボランティアをや

でうれしくなります。若い時に食堂を経営されていた人はメニューを書いたり、俳句を書く方、お経を書く方、充実した気持ちで伝わって来ます。九十八才の方は、一ヶ月に七冊の本を読んでいます。「この施設はよく面倒を見てくれますし、食事もおいしいから幸せです」とおっしゃり、聞けば亡くなった私の母と同じ年令とのこと、思わず涙が出てしまいました。

色々考えさせられこれからは、若い人達も親の面倒を見たくても、自分達のこの先の年金や仕事の事を考えたり、老々介護等で施設の入所者が増えます。増えるのではないのでしょうか。これは社会問題ですが、私達も集まると、ついこの様な話になる年令になりました。せめて寝たきりの生活にならないように頑張りたいと思っております。

### 編集後記

八月三十日から始まりました第三回定例会市議会でしたが、あまりにも暑く、議場の冷房も効かない状況でした。その後も暑さは続き、どうなることかと思っております。九月十日頃から急に涼しくなりました。涼しいを通り越して寒くなったと言ってもいいようでした。

九月半ば過ぎからは、雨が多く、稲刈りができず、大変だったとお聞きしております。そのうえ、夏の暑さで米の出来具合が悪く、七十パーセント位が二等米と米を作っている方は大変な年となりました。十月に入り、涼しさも増してきましたが、半ばを過ぎてまだまだ山々の紅葉が始まらないようです。

これらを異常気象の一言で片付けることができるのでしょうか。日本は温帯性気候と言われておりましたが、亜熱帯気候に変わったように思います。今後このような気候が毎年繰り返されるのではと心配になります。

今冬の積雪量はどのようになるでしょう。予想ができません。



教える側が色々お事が多く、人間は何才になっても努力すれば上達できることを本当に痛感いたしました。ほとんどが車いすでお身体の不自由な方々です。年令も八十〜九十才代の方が多く、でも皆さん一生懸命練習して下さいます。書いた作品を展示しますとニコニコ見ている姿は、本当に若々しく感じ私達ま